



新しい本が入りました！ ※別紙一覧表をご覧ください。

★ 修学旅行特集展示！！
長崎・佐賀・福岡



猛暑の夏が過ぎ新学期が始まりました。2年生は、待ちに待った修学旅行、その土地の文化・歴史に触れ大いに学びそして楽しんで来てください。「修学旅行コーナー」に長崎・佐賀・福岡に関する資料を集めました。調べ学習に活用してください。

新学期に合わせて新しい図書を揃えましたので、是非ご利用を！！

夏休み中に借りた本の返却期限日は、9月1日(木)ですので遅れないように返却をお願いします。

継続して借りたい本は、予約者がいなければ延長できますので図書を持参の上カウンターで手続きをしてください。

◆ 大学入試シリーズ 赤本 2022・2021年版 を進路コーナーに展示 一人3冊まで貸出可能です。

9月のカレンダー (変更になる場合があります)

■ グレーは休館

日	月	火	水	木	金	土
				9/1 始業式 図書返却期 限日	2	3 土曜授業 午後閉館
4	5	6	7	8	9	10 文化祭
11 文化祭	12 振替休業日	13	14	15	16	17 土曜授業 午後閉館
18	19 (敬老の日)	20	21	22	23 (秋分の日)	24
25	26	27	28	29	30	10/1 (都民の日)

《新着図書の中から》



『メタ認知』
三宮 真智子
(中央公論新社)

自分の頭の中にいて、客観的な判断をしてくれる「もうひとりの自分」、それが「メタ認知」。この「もうひとりの自分」が、脳のパフォーマンスを最大限に発揮できるようにするために、認知心理学・教育心理学の専門家が語る。



『毎日の部活が高校生活一番の宝物 堀越高校サッカー部のボトムアップ物語』
加部 究 (竹書房)

楽しく、真剣に、「やらされる部活」ではなく、選手が主体的に考える部活とは何か。2020年度29年ぶりの選手権出場を果たし、初のベスト8進出。2021年度も連続出場、10年の歳月をかけて築いた監督と選手の理想の形について語る作品。



『マークの本』
佐藤 卓
(紀伊国屋書店)

商品デザイン、グラフィックデザインの第一人者として活躍する著者が、自ら手掛けたシンボルマークやロゴの制作の背景にある思考と技術を、マーク120点とともに解説。



『くるまの娘』
宇佐美 りん
(河出書房新社)

車で祖母の葬儀に向かう、17歳のかんこたち一家。思い出の景色や、車中泊の密なる空気が、家族とは何か、その根源にあるものを引きずりだしていく。芥川賞受賞『推し、燃ゆ』に続く注目の作品。



『辺野古入門』
熊本 博之
(筑摩書房)

普天間基地移設問題の最前線としての名護市辺野古。キャンプ・シュワブとどのような関係にあるのか、基地移設の候補地としてなぜ浮上したのか、条件付受入容認とはいったい何を意味するのか。20年間にわたり現地でフィールドワークを続けている社会学者が語る「辺野古を知ってもらう」ための一冊。

学習支援図書の中から



『歴史総合 要点チェック』
歴史総合チェック編集委員会【編】
(山川出版)

歴史総合の学習における基礎知識を問う問題集。教科書をもとに編集し、単元に沿って要約した短文を読んで流れを確認し、用語をチェックする。予習・復習にも使える一冊。

『真・英文法大全』
関 正生【編】
(KADOKAWA)

英文法の「核心」をつかめるように、英文法の仕組み・様々な用例について解説。高校英語と大学受験を中心に、英語の資格試験・ビジネス・海外旅行・日常会話・海外ニュース・映画・洋書など、広く英文法について説明。例文が使われる場面の豊富さ・範囲の広さを見るだけで、英文法があらゆる場面で役立つことがわかる内容。

《リクエストされた図書の中から》



『世界最高の人材を育てる 気づきの教育』
大久保 秀夫
(アチーブメント)

「教える」から「気づかせる」へ。国内3社、海外1社の会社を上場させた経営者であり、カンボジアで8000人の教師を輩出し教育省の認可も受けた幼小中一貫校の創設者が語る社員教育、子育て、学校教育をテーマにした作品。志を持ったリーダーを育てるための教育とは何かを著者は問う。



『マンガでやさしくわかる学習する組織』
小田 理一郎
【著】/ 松尾 陽子【漫画】
(日本能率協会マネジメントセンター)

不祥事をきっかけに、組織変革の必要に迫られる会社を舞台に、主人公の永倉由香は、経営企画部の一員として会社の新体制・方針について工場で説明することになるが、猛反発に遭う。会社の立て直しのためにも、現場の社員たちの納得を得たいと考える由香。そんな時、「学習する組織」と出会う。マネジメントの常識を変えた世界的ベストセラーをやさしく解説した作品。

『スタジオジブリ 全作品集』
講談社【編】
(講談社)

『風の谷のナウシカ』から、最新作『アヤと魔女』までスタジオジブリのアニメーション26作品をこの1冊で、まるごとすべて紹介。最新作『アヤと魔女』は、ジブリ初のフル3DCG作品、この作品ができるまでの過程や、宮崎吾朗監督が語る制作秘話も収録し、ジブリの「これまでとこれから」を知ることができる一冊。